

施策の進捗管理シート

令和 7 年度

総合 系計 画体	分野	3	第3章	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	施策統括課	健康づくり課
	施策No.	4	施策名	健康づくりの推進と保健・医療の連携	課長 石川 浩二 (施策統括責任者)	山崎 浩二
	関係課	保険年金課 健康づくり課 学事課 富士大和温泉病院 三瀬診療所				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	市民一人ひとりが、健康づくりと疾病予防に取り組み、健診等により病気の早期発見・早期治療につなげるとともに、安心して医療が受けられることにより、地域でいきいきと健康に暮らしている。
取組方針	市民一人ひとりが健康に暮らしていくために、ライフステージに応じた健康づくりの支援や疾病予防などに努めます。また、安心して生活に欠かせない救急医療体制の確保と中山間地域の医療の充実に取り組みます。

2. 施策の意図と成果指標

対象(誰、何を対象としているのか) *人や自然資源等	市民							
意図(この施策によって対象をどう変えるのか)	市民一人ひとりが、健康づくりと疾病予防に取り組み、健診等により病気の早期発見・早期治療につなげるとともに、安心して医療が受けられることにより、地域でいきいきと健康に暮らしている。							
成果指標 A								
毎年(3年以上継続して)、何らかの健診を受けている市民の割合							単位	
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標実績		
62.7	64.0 61.1	65.2 68.1	66.4 63.2	67.6 58.6	68.8 65.0	70.0 65.1		
成果指標 B								
生活習慣病の指導対象者の割合(佐賀市国保特定健診受診者)							単位	
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標実績		
58.1	56.7 61.0	56.7 61.6	56.7 60.5	56.7 58.9	56.7 58.5	56.7 59.1		
成果指標 C								
健診結果を自らの健康管理に活かしている市民の割合							単位	
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標実績		
75.2	76.0 75.0	76.8 72.3	77.6 76.6	78.4 74.0	79.2 79.0	80.0 79.0		
成果指標 D								
健康寿命と平均寿命の差(男性)							単位	
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標実績		
1.14	1.13 1.18	1.12 1.07	1.11 1.00	1.10 0.88	1.09 0.88	1.08 0.86		
成果指標 E								
健康寿命と平均寿命の差(女性)							単位	
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標実績		
2.66	2.64 2.47	2.62 2.52	2.60 2.38	2.59 2.21	2.58 2.18	2.57 2.16		

3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	56.2%	61.0%	↑
ある程度重要である	37.2%	34.3%	↓
あまり重要ではない	2.4%	2.5%	↑
重要ではない	0.1%	0.0%	↓
順位	6/36位	2/36位	↑

施策の満足度	前回	今回	
満足している	8.1%	11.2%	↑
どちらかといえば満足	56.7%	61.4%	↑
どちらかといえば不満	18.9%	15.5%	↓
不満である	3.3%	2.3%	↓
順位	1/36位	1/36位	→

4. これまでの取組・成果

市民の健康寿命の延伸のため、がん、循環器疾患、糖尿病などの主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防の取組のほか、社会生活を支えるために必要な休養・こころの健康対策の推進、次世代の健康づくり、高齢者の健康づくりなど、市民がライフステージに応じた健康な生活習慣を習得できるようにするための施策を推進してきました。

第2次佐賀市健康づくり計画では59の数値目標の進行管理を行ってきました。その結果28項目（47.5%）で改善など成果がみられました。

5. 指標の達成状況に関する分析

①毎年（3年以上継続して）、何らかの健診を受けている市民の割合

③健診結果を自らの健康管理に活かしている市民の割合

上記2項目に関しては、年々、増加傾向にはあるが、目標値に届いていない。今後は市民一人ひとりが自分の健康に関心を持つような取り組みを行って行く。また、無関心層への働きかけも重要となる。

②生活習慣病の指導対象者の割合（佐賀市国保特定健診受診者）

目標値より高くなっており、生活習慣病の指導が必要な方の割合が増加傾向にある。保健指導を充実させていく必要がある。

④健康寿命と平均寿命の差

男性R1は1.18年であったのに対し、R5は0.88年となり、その差は0.3年縮小しました。また、女性はR1は2.47年であったのに対し、R5には2.18年となり、その差は0.29年縮小しました。男女ともに目標を達成しており、平均寿命と健康寿命の差について、評価は男女とも改善傾向にあります。

6. 今後の方向性（第3次佐賀市総合計画への反映など）

第3次総合計画の「健康・福祉」分野に掲げる「健やかに、幸せに満ちたまち」を実現させるためには、令和7年度から新たにスタートした、佐賀市健康づくり計画（第3次）に基づき様々な施策を展開していく必要がある。○日頃から取り組む健康づくり、○生活習慣病を予防する健康づくり、○健康づくりを支える環境の整備、○ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりを基本的方向とし、健康寿命の延伸を目指していく。